

「世界の倉庫ロボット市場2022年－2031年：提供別（ロボット、ソフトウェア、サービス）、用途別（パレタイジング&デパレタイジング）」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました



2022年9月2日

株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界の倉庫ロボット市場2022年－2031年：提供別（ロボット、ソフトウェア、サービス）、用途別（パレタイジング&デパレタイジング、ローディング&アンローディング、ソーティング&ストレージ、その他）」調査資料の販売を2022年9月2日

に開始いたしました。倉庫ロボット市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート

■レポートのタイトル：世界の倉庫ロボット市場2022年－2031年：提供別（ロボット、ソフトウェア、サービス）、用途別（パレタイジング&デパレタイジング、ローディング&アンローディング、ソーティング&ストレージ、その他）

■英文タイトル：Warehouse Robotics Market (Offering: Robots, Software, and Services; and Application: Palletizing & Depalletizing, Loading & Unloading, Sortation & Storage, and Others) - Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends, and Forecast, 2022-2031

■発刊日：2022年8月30日

■出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）

■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容

倉庫ロボットとは、自動化されたシステム、ロボット、専用ソフトウェアを使用して、材料の運搬やいくつかの作業を実行することです。自動倉庫ロボットは、高いところに積み上げられた在庫を取り出したり、重い荷物を運ぶなど、リスクの高い作業を行うため、職場の安全性が向上します。自動倉庫システムは、作業ミスを減らし、生産性を高め、保管を最適化し、補充を自動化し、顧客満足度を向上させます。現在では、特定の業務に特化したロボットではなく、ピッキング、ローディング、パッキング、アンパッキングなど、複数の業務をこなす多目的ロボットの開発に重点を置いています。

Eコマース業界におけるプレイヤー間の激しい競争は、運用コストの削減、生産性の向上、職場の健康と安全の確保を目的とした倉庫ロボットの採用を後押ししています。自律型倉庫ロボットは長い間、この業界で活用されており、大規模な産業環境で動作することによって人間の作業を容易にしてきました。これらのロボットは通常、大型でケージに入った装置であり、人間の代わりに反復的で危険な作業を行います。また、ロボットは作業員を追跡し、作業から逸脱した場合には修正するために使用されます。ロボットと自動化により、倉庫は24時間365日稼働できるようになりました。このように、物流ロボットの導入の増加と電子商取引分野の成長が市場を活性化させています。

スマートロボット倉庫システムに対する資金調達の増加が、倉庫自動化市場規模を押し上げています。[2022年8月](#)、インテリジェントロボット企業のGeekplus Technology Co.,Ltd. は、中国での倉庫用ロボティクス向けに1億米ドルの資金調達を実施しました。同社は、世界市場の拡大を後押しし、自律移動ロボット（AMR）技術の研究開発に投資する計画です。同様に、[2021年9月](#)

には、自律型産業用ロボットとケースハンドリングロボットシステムを製造する中国の倉庫ロボット新興企業であるHai Roboticsが、倉庫ロボットのために2億米ドルを調達しています。しかし、高い資本コストと設置コスト、ロボットを操作する熟練労働者の不足が、世界市場における倉庫自動化ソリューションの採用を妨げています。

倉庫ロボットの世界市場は、提供物の観点から、ロボット、ソフトウェア、サービスに区分されます。ロボットのうち、倉庫ロボット市場では自律移動型ロボット（AMR）のサブセグメントが大きな成長を遂げると予想されています。AMRは、人間の介入を必要とせずにタスクを実行し、倉庫内を移動することができます。これらの自動運転ロボットは、高度なセンサー、人工知能、および設置場所のデジタルレイアウトを備えており、周囲の環境を解釈することができます。AMRは、その汎用性と既存のインフラへの統合のしやすさから、倉庫やロジスティクス産業において急速に価値ある存在となりつつあります。市場の主要なプレイヤーは、斬新なAMRを発売しています。[2022年6月](#)、Amazon

Roboticsは「Proteus」を発売しました。これは、同社の施設内で荷物を運ぶカートを持ち上げて移動できる、初の完全自律型移動ロボットです。

最近の倉庫ロボット業界の傾向として、パレタイジングやデパレタイジング、ローディング&アンローディングなどの用途で、倉庫や配送センターにおけるスマートロボットの普及が進んでいることが指摘されています。用途の観点から、世界の倉庫ロボット市場は、パレタイジング&デパレタイジング、ローディング&アンローディング、ソート&ストレージ、その他（補充、包装など）に分類されます。2021年の倉庫ロボット市場では、ローディング&アンローディング部門が最も高いシェアを占めています。積み下ろしは通常、フォークリフトやパレットトラックによって処理されるが、自動フォークリフトなどの無人搬送車（AGV）が、これらのプロセスを高速化するために倉庫を支援しています。

倉庫自動化の統計によると、2021年にはアジア太平洋地域が市場の約32%の最大シェアを占めました。同市場の成長は、食品・飲料、小売、Eコマース分野における倉庫ロボット技術の採用の増加、および同地域における主要プレイヤーの存在に起因すると考えられます。中国の市場は、電子商取引分野におけるスマート・ロジスティック・ソリューションの需要増加により、予測期間中に大きな成長を遂げると予想されます。アジア太平洋地域の市場は、急速なデジタル化、倉庫ロボット技術への資金調達と採用の増加により、急速なペースで成長しています。中東・アフリカは、南米と比較して倉庫ロボットの市場規模が大きいですが、南米の市場は中東・アフリカの市場と比較して急速なペースで成長すると予測されます。

■レポートの詳細内容はこちら

<https://www.marketresearch.co.jp/data1/warehouse-robotics-market-offering-robots-software-and-services/>

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら

<https://www.marketresearch.co.jp/contacts/>

■調査会社Transparency Market

Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について

<https://www.marketresearch.co.jp/Transparency-Market-Research/>

株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて

<https://www.marketresearch.co.jp>

主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供

本社住所：〒105-0004 [東京都港区新橋1-18-21](#)

TEL：03-6161-6097 FAX：03-6869-4797

マーケティング担当 [marketing@marketresearch.co.jp](mailto:marketing@marketresearch.co.jp)

---

Generated by ふれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>